

オーディオ実験室収載

ヴォリュームアキュライザーの模造品(5)

1. 始めに

前報(4)に引き続き、ヴォリュームアキュライザーVRA-7の模造品を検討します。

2. 模造品の制作手順および適用箇所の検討

前報(4)において缶なしでのフェルトを使用した模造品の制作を行い、効果を認めましたので、引き続き、JBL4350Aのシステムに使用することを目標に、その延長方向で検討を続けます。

JBL4350Aのシステムでは、ミッドレンジの駆動アンプの45ppのアンプのL/Rヴォリュームとチャンネルデバイダーのレベルコントロールノブへの適用が対象になります。このシステムへのVRA-7の適用については、[ヴォリュームアキュライザーの活用\(10\)](#)で報告していますが、今回は模造品を適用するわけです。

45ppのアンプのL/Rヴォリュームには、前報(4)の模造品5号を2個追加制作します。チャンネルデバイダーのレベルコントロールノブには、L/R各3チャンネル×2計6個が必要ですが、foQシートを長方形に切り抜き、表にフェルトを紙製の両面テープで貼り、接着面にはゴム製の両面テープを貼って、模造品8号とします。



3. 模造品の適用箇所と試聴

45ppのアンプのL/Rヴォリュームに模造品5号を貼ります。



チャンネルデバイダーのレベルコントロールノブは、L/R 各 3 チャンネル×2 計 6 個の模造品 8 号を貼ります。



試聴音源は下記のアナログ盤です。

ドイツグラモフォン 483 6926

バッハ 無伴奏ヴァイオリンパルティータ・ソナタ

ナタン・ミルシュテイン

ドイツグラモフォン(日本グラモフォン) MG9551

ベートーベン 三つのピアノソナタ(選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ

バッハの無伴奏ヴァイオリンパルティータ・ソナタは、模造品貼り付けなしの状態では、TuPhase のボリュームへの VRA-7 の貼り付けが効いて、かなりグレードが上がっていますが、45pp のアンプのボリュームとチャンネルデバイダーのレベルコントロールノブへの模造品貼り付けで、高域のきつさが取れて、切れの要さや透明感はそのままだに JBL とは思えないほどのソフトな感じもでできます。

ベートーベンの選帝侯のソナタは、45pp のアンプのボリュームとチャンネルデバイダーのレベルコントロールノブへの模造品貼り付けで、打鍵の鋭さはそのままに、音の深みが出てきて曲の表情が豊かになります。

ボリュームアキュライザーの活用(10)で報告した、このシステムへの VRA-7 の適用を実施した時の効果ほどではありませんが、模造品を適用した意義は十分にありません。

4. まとめ

VRA-7 の効果には及びませんが、45pp のアンプの L/R ボリュームへの模造品 5 号の適用と、チャンネルデバイダーのレベルコントロールノブへの模造品 8 号の適用の効果を確認しました。

以上